東海工業専門学校講演会報告

日　時：令和４年５月９日(月)午後４時～同５時
会　場：東海工業専門学校金山校

今年も東海工業専門学校金山校に協力していただき、「職業としての土地家屋調査士を選択した理由」と題して、東海工業専門学校の卒業生でもある、熱田支部所属の森田正樹会員が土地家屋調査士の広報のため、講演を行いました。

愛知県土地家屋調査士会として東海工業専門学校で講演をさせていただくのは、今年で4回目となりました。今回は東海工業専門学校のご尽力もあり、過去最多の 104 名の生徒が参加してくれました。

参加してくれた生徒は測量科、測量設計科、測量研究科で勉強している生徒たちで、講演会後のアンケートを見ると土地家屋調査士について、資格名は聞いたことがあると答えている生徒が多くいました。普段から測量に関係している授業を受けていることもあり、授業で先生から土地家屋調査士について聞いた、と答えている生徒もいたことは嬉しく思いました。

学生を前に講義をする森田会員

森田会員は講演において、土地家屋調査士はどういう仕事か、どのようにして土地家屋調査士を目指すことになったのかを話してくれました。この講演は教科書には載っていない一人の人間の人生についての話であり、土地家屋調査士に興味がない生徒も考えさせられる内容だったと思います。

また生徒たちから講演内容が面白かったとの感想をいただきました。講演に参加してくれた生徒たちが今後どのような仕事をしていくのか、またどんな人生を生きたいのかを少しでも考える場になってくれたのであれば、よかったと思います。

私の個人的な意見としては、これからの広報は東海工業専門学校の生徒たちや東京法経学院で資格取得に向け勉強している方などに、もっと土地家屋調査士の魅力を伝えていきたいと思っています。現在、土地家屋調査士の受験者数は 4,000 名にも満たないという異常事態です。これについて同業ライバルが減って喜ばしいと感じている会員は考えを改めていただきたいと思います。土地家屋調査士の制度そのものが無くなるかもしれないと危機感を持ち、土地家屋調査士制度の発展に全会員で取組むことが必要になっていると感じます。

最後に、今回の講演会にご協力いただきました、東海工業専門学校の関係者の皆様には、このような貴重な機会を作っていただき感謝いたします。

（広報副部長　中島 健太）